

1-10

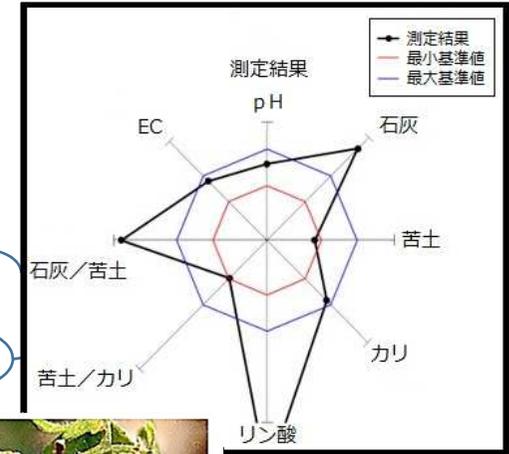
大課題名：環境保全型農業の確立（H20～）

小課題名：(新)有機質資材による持続可能な農業技術の確立（R2～6）【R2～4：成長戦略課題】

総合農業技術センター

背景

- ◇県内農家は環境保全型農業を指向する傾向 **高**
- ◇有機質資材は窒素 **少**、リン酸・加里等 **多**
- ◇土壌養分バランス **悪** → 生理障害 **増**、収量 **減**
- ◇有機物と微生物の関係 → 情報 **稀**



なかなか上手く作れないなあ



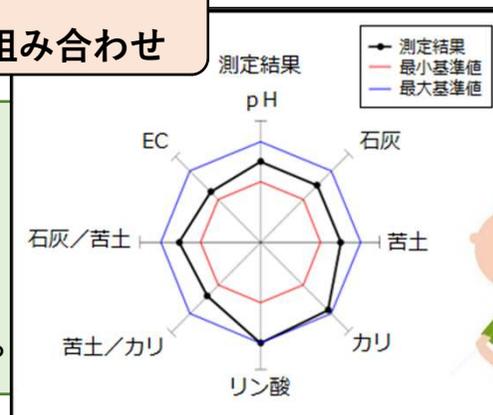
●改善前
鶏糞 2 t 施用

- 1 有機質資材の特性データ集約
→ 経験と勘からデータに基づく理論へ
- 2 窒素動態の数値化 → 適正施肥技術を栽培実証
- 3 有機実践土壌の解析 → 化学、物理、生物性のデータ化
- 4 バイオスティミュラントの効果 → データに基づく性能の評価

期待される効果

- ・農家のニーズに適合する資材を選択できる。
- ・新規就農者にも実践できる栽培の手引きとなり、経営安定と産地の維持・拡大に繋がる。
- ・土壌養分バランスが改善され環境負荷が低減する。

●改善後
鶏糞300kgと窒素単肥の組み合わせ



土が元気だと、作物も元気！

